

自己評価アンケート まとめ

職員による自己評価

バリアフリー化や部屋の大きさ等、環境面は充実している。また、職員数も多い事から手厚い支援ができるので、様々な障がいの特性に応じて対応しやすい。
長期休暇の外出活動では、色々な場所へ行くため、利用者様に様々な経験をしてもらえるよう工夫をしている。保護者様との連携については、年二回の面談や日頃の連絡帳、イベント(夏祭り・餅つき)でやり取りをする機会をつくっている。

保護者により評価

障がいのない子どもとの関わりや保護者会については出来ていないが、意見は少ないので求めているのかは不明。(一部、必要無しや難しいとの意見は有り)
非常時の対応については、不明確という意見があった。



事業所内での分析

非常時の対応について、実態を知らない等、不明確との意見を頂いたので今後改善が必要。
日々の利用者様の様子については、現在のやり取りで、大多数の保護者様にご理解いただいているので継続して行っていく。

事業所の強み

環境面や職員数は整っているため、様々な障がい特性を持つ児童に手厚い支援が出来る。
児童の様子や過ごし方について、連絡帳や送迎時等を使って詳しく伝える事が出来ている。
長期休暇では、積極的に外出活動(プールや大きい公園)に行くため、様々な経験が出来る。

事業所の改善点

非常時の対応についての再確認と各家庭への周知を行っていく。
障がいのない子どもとの交流や保護者会については需要があるのかを確認したうえで必要であれば、今後検討していく。

事業所の改善への取り組み

今回、どちらともいえないに多くの〇がついた、非常時の対応については、重要な事なので、面談時等に話をしていく。実際に保護者様の疑問点や不安な事を確認したうえで、さらに職員間で話し合い、問題解決をしていく。